

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 8 日 (2005.12.8)

【公表番号】特表 2000-516989(P2000-516989A)
【公表日】平成 12 年 12 月 19 日 (2000.12.19)
【出願番号】特願 平 11-501489
【国際特許分類第 7 版】
C 08 F 4/654
【FI】
C 08 F 4/654

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成17年5月19日

特許庁長官 小川 洋 殿



1. 事件の表示

平成11年 特許願 第501489号

2. 補正をする者

住 所 オランダ、エムエス ホッフッドルプ エヌエルー2132、
フークスティーン 66

名 称 モンテル テクノロジー カンパニー ビーブイ

3. 代 理 人 〒530-0047

住 所 大阪市北区西天満5丁目1-3南森町パークビル

電話 (06) 6365-0718

ファクシミリ (06) 6365-9279

氏 名 弁理士 (6524) 野 河 信太郎



4. 補正対象書類名

「請求の範囲」

5. 補正対象項目名

「請求の範囲」

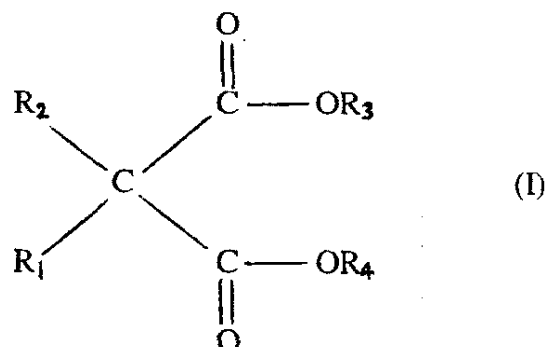
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正する。

請求の範囲

1. ハロゲン化 Mg 上に支持され、少なくとも Ti－ハロゲン結合を有するチタン化合物と、

式 (I)：



〔式中、 R_1 は $\text{C}_1 \sim \text{C}_{20}$ 直鎖状もしくは分岐状アルキル、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_{20}$ アルケニル、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_{20}$ シクロアルキル、 $\text{C}_6 \sim \text{C}_{20}$ アリール、アリールアルキルまたはアルキルアリール基であり； R_2 は $\text{C}_1 \sim \text{C}_{20}$ 直鎖状アルキル、 $\text{C}_3 \sim \text{C}_{20}$ 直鎖状アルケニル、 $\text{C}_6 \sim \text{C}_{20}$ アリール、アリールアルキルまたはアルキルアリール基であり； R_3 および R_4 は $\text{C}_1 \sim \text{C}_3$ アルキル、シクロプロピルからなる群から独立して選択される、ただし R_1 が $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$ 直鎖状もしくは分岐状アルキルまたはアルケニルのとき R_2 は R_1 とは異なる〕のマロン酸エステル類から選択される電子供与性化合物とからなる、

オレフィン $\text{CH}_2=\text{CHR}$ 〔式中、 R は水素または1～12の炭素原子を有するヒドロカルビル基である〕の重合用固形触媒成分。

2. R_2 が $\text{C}_1 \sim \text{C}_{20}$ 直鎖状アルキル、直鎖状アルケニル、シクロアル

キル、アリール、アリールアルキルまたはアルキルアリール基であり、 R_1 が R_2 と異なる $C_1 \sim C_4$ アルキルである請求項1に記載の固形触媒成分。

3. 少なくとも R_1 または R_2 が第1級 $C_6 \sim C_{20}$ アリールアルキル基である請求項1に記載の固形触媒成分。

4. 式(I)の電子供与性化合物が2,2-ジベンジルマロン酸ジエチル、2-n-ブチル-2-イソブチルマロン酸ジメチル、n-ブチル-2-イソブチルマロン酸ジエチル、2-イソプロピル-2-n-ブチルマロン酸ジエチル、2-メチル-2-イソプロピルマロン酸ジエチル、2-メチル-2-イソブチルマロン酸ジエチル、2-イソブチル-2-ベンジルマロン酸ジエチルからなる群から選択される請求項1に記載の固形触媒成分。

5. チタン化合物が $TiCl_4$ または $TiCl_3$ である請求項1に記載の固形触媒成分。

6. (i) 請求項1の固形触媒成分と、
(ii) アルキルアルミニウム化合物と
(iii) 1種類またはそれ以上の電子供与性化合物（外部供与体）との反応生成物からなる、
オレフィン $CH_2=CHR$ 〔式中、Rは水素または1～12の炭素原子を有するヒドロカルビル基である〕の重合用触媒。

7. 請求項6の触媒存在下に行なわれるオレフィン $CH_2=CHR$

[式中、Rが水素または1～12の炭素原子を有するヒドロカルビル基である]の(共)重合方法。